

第 20 回 実践化学工学講座

主催 化学工学会関西支部
協賛 応用物理学会関西支部、大阪工研協会、近畿化学協会、高分子学会関西支部
触媒学会、石油学会、電気化学学会関西支部、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部

関西支部では、企業で活躍されている化学系研究者や技術者を対象として、毎年「実践化学工学講座」を開講しています。講習会では化学プラントでの具体例を出発点とし、基礎研究の成果を工業化していく段階でどういう基礎データが必要か、どのようなアプローチが必要なのか、またフラスコでの現象がプラントではどんな結果になるのか等について、ビデオ、デモンストレーションなどを取り入れて化学工学以外の出身者にも十分理解していただけるように平易に解説いたします。各科目は、産学界の第一線で活躍されている講師陣による工業化例の紹介から始まり、基礎理論の解説、例題演習までがそれぞれ一日で完結する構成となっており、受講は一日単位でも可能となっております。今年度は、新しく「乾燥」の単元を追加しました。この機会に、社内教育の一環としても是非ご活用下さいませようご案内申し上げます。

日時 平成 26 年 10 月 14 日(火)、16 日(木)、21 日(火)、23 日(木)、28 日(火)、30 日(木)
11 月 4 日(火)、7 日(金)、11 日(火)、25 日(火) (全 10 回・各 9:00-17:00)

会場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4 電話06-6443-5324)
<交通> 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩 5 分。うつぼ公園北詰
※10月16日(木)「蒸留」は関西化学機械製作(株)(実験機によるデモンストレーション有)
(尼崎市南七松町2-9-7 電話06-6419-7121) <交通> JR東海道線「立花」駅下車、南に徒歩約15分
【プログラム】(詳細はHP <http://www.kansai-scej.org/2014/20jissenkako.html> を参照)

10月

14日(火) **反応工学** (9:00~17:00)

京都大学大学院工学研究科 教授 河瀬元明氏
(株)日本触媒 研究本部 技監 常木英昭氏

基礎編では、反応器の設計と運転条件決定に必要な理論を概説し、応用編では、具体的な反応工学の活用について、実際に企業化した触媒反応プロセスの例を中心として紹介する。

16日(木) **蒸留** (9:00~17:00)

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授 外輪健一郎氏
関西化学機械製作(株) 代表取締役社長 野田秀夫氏

気液平衡から理論段数までの基礎理論編につき、応用編では蒸留塔の構造の詳細や省エネ型蒸留塔など最新の動向を学ぶ。さらに実機を用いた実習により理解を深める。

21日(火) **晶析** (9:00~17:00)

(公社)化学工学会 事業企画グループ 部長 須藤省吾氏
カツラギ工業(株) 技術本部 取締役本部長 三木秀雄氏

基礎理論編では古典論の解説に最新の知見のレビューを加え、応用編では、晶析プロセスの開発や設備管理における問題点について演習を交えて解説する。

23日(木) **吸収** (9:00~17:00)

関西大学環境都市工学部 教授 三宅義和氏
月島環境エンジニアリング(株) 充填物機器部 マネージャー 田村善継氏

溶解平衡、二重境膜モデル、充填塔の設計方程式を基礎理論編で、排ガス・排水処理のニーズに対応して CO₂、SO₂ の反応吸収、排水からの有害ガス放散などを応用編で扱う。

28日(火) **吸着** (9:00~17:00)

奈良工業高等専門学校物質化学工学科 教授 中村秀美氏
エア・ウォーターベルパール(株) 代表取締役社長 茨木敏氏

吸着の基礎を講義し、あわせて吸着分離プロセスや吸着応用エネルギープロセスの操作原理と特徴を概説する。応用編はガス分離、溶剤回収、浄水器用活性炭、キャパシタ用電極材を扱う。

30日(木) **粉粒体** (9:00~17:00)

京都大学大学院工学研究科 教授 松坂修二氏
住友化学(株) 工業化技術研究所 上席研究員 遠藤禎行氏

粉粒体操作の基礎から解説をスタート。粉体のキャラクタリゼーション、ダイナミクスを基礎理論とし、粒子層の力学、濾過・集塵エアフィルターを扱う応用編へと進む。

11月

4日(火) **流動・伝熱** (9:00~17:00)

神戸大学大学院工学研究科 教授 大村直人氏
(株)カネカ 大阪工場生産技術グループ グループリーダー 辻村勇夫氏
基礎理論編では流動・伝熱の実用に必要な基本的事項を順序よく一覧する。応用編では反応装置システムを題材とした実践的な演習を通して計算の実際に触れる。

7日(金) **乾燥** (9:00~17:00)

岐阜大学工学部 教授 板谷義紀氏
スケールアップコンサルタント 高橋邦壽氏
乾燥現象を定量的に理解するための基礎理論、乾燥方式の種類と特徴、装置の設計方法について演習を交えて学ぶ。応用編では、ラボ実験方法や実機の運転ポイント、トラブルの対策などについて簡単な例題を行いながら解説する。

11日(火) **攪拌・混合** (9:00~17:00)

大阪大学名誉教授 平田雄志氏
(株)ダイセル 生産技術本部生産技術センター 所長 亀井登氏
基礎理論編では完全混合槽モデルを基礎とし、所要動力、混合、スケールアップの進んだテーマを学ぶ。応用編では設計に関わる諸問題を、演習問題を通して学習する。

25日(火) **プロセス制御** (9:00~17:00)

京都大学大学院情報学研究科 教授 加納学氏
住友化学(株) 工業化技術研究所 兼 生産安全基盤センター 技術室統括 轡義則氏
プロセス制御の扱いの平易な解説は基礎理論編で、プロセス制御の実例としてコントローラ、蒸留プロセスを扱い、制御系の設計・改善提案に及び応用編の二部構成。

申込締切 9月16日(火) 定員 各科目 40名
参加費

	個人会員(協賛団体含む)	法人会員(協賛団体含む)	会員外
全部受講	68,000円	78,000円	120,000円
1日受講	10,000円	15,000円	25,000円

(消費税、講習会テキスト代を含む)

会員外の方へ 化学工学会正会員にご入会されると、全部受講72,000円、1日受講14,000円《会費4,000円含(10月~翌2月)》でのご参加となります。詳しくは下記へお問合せ下さい。

申込方法 下記用紙に必要事項を明記のうえ、お申し込み下さい。参加費は、現金書留または銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金 No.0405228「公益社団法人化学工学会関西支部」名義)をご利用下さい。なお、銀行振込の場合、必ず送金予定日を明記願います。お申し込み後にキャンセルされる場合は必ず開催日の前日までにご連絡を下さい。前日までにキャンセルのご連絡がない場合は参加費をいただきます。参加者には参加証を送付いたします。講習会当日には関数電卓を各自でご持参下さい。受講者には、修了証書を発行致します。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 (大阪科学技術センター6F)
公益社団法人 化学工学会関西支部
TEL: 06-6441-5531/FAX: 06-6443-6685/E-mail: apply@kansai-scej.org

「第20回実践化学工学講座」参加申込書 (H26年度) <コピー可>

氏名		会員資格	
勤務先		所属	
連絡先	〒 TEL FAX E-mail		
受講日に印	全日程() 希望日 (10/14) (10/16) (10/21) (10/23) (10/28) (10/30) (11/4) (11/7) (11/11) (11/25)		
送金内容	円 / 銀行振込()・現金書留() 月 日送金(予定) 請求書(要・不要)		
アンケート	担当講師の参考のため、ご自分が当てはまると思うものに印をつけて下さい。 1. 化学工学については全くの素人 2. 化学工学の概論の授業を1~2単位受講した程度 3. 化学工学が専門である 4. 化学工学の実務に就いていて、具体的な課題・問題をもっている		